

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町名	稲美町
-----	-----

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
③学校と家庭 の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童が増えてきており、家庭の事情によって放課後等の学習機会に差ができてきている。児童に学ぶ機会を広めたり、学ぶ意欲を高めたりしていく機会を保证することが家庭・学校共通の課題となっている。また、地域のことを知ったり、地域の人と関わり合ったりする機会を増やし、地域の教育力に支えられながら児童の学ぶ機会をいかに増やして行くかということも課題になっている。	学生や地域住民、教師が連携して、小学校区ごとに児童(小学生5・6年生対象)の学習を支援してきた。算数を中心にベーシック、チャレンジのコースを設け、児童の学習意欲が高まるように工夫して取り組んできた。参加率は、令和5年度、6年度共に17%である。参加児童、保護者、学習支援員、参加教師の地域未来塾への評価は、おおむね良好である。	地域学校協働本部員のネットワークを活用し、地域未来塾の学習支援員の数を増やす。地域未来塾(小学生5・6年生対象)の参加者を町内5・6年生全児童の4分の1(25%)以上をめざす。将来的に地域未来塾の開催日数を増やし、児童の参加率も高める。	学校以外で日常的に、また意欲的に学習に取り組む児童が増える。	地域未来塾終了後に行うアンケート(児童・保護者・学習支援員(地域住民)・地域未来塾に参加した児童の参加率とともに地域未来塾に参加して成果があったと回答した保護者の割合	参加率 17% 成果 59%	%	参加率 25% 成果 85%	参加率 15% 成果 68%	参加率は、昨年よりやや減少した。学校間、学年間にばらつきがある。昨年より参加率が上がった所もあるが、大きく下がったところがある。目標値の25%を上回っている所もあるが、下回っている所の方が目立っている。土曜日の午前中は、予定が入っている児童も多く、開催日時の見直しもしていかなければならない。 成果に関しては、保護者の評価は上がったが、目標値に届いていない。地域未来塾に対しては100%の保護者が満足しているが、成果に対しては実感でにくいことも理由として考えられる。児童が問題を解いたり、意欲的に問題に取り組むようになったり、進んで地域未来塾に行くようになったりした姿を目の当たりにし、高い評価をしている保護者はいる。	https://www.town.hyogo-inami.lg.jp/0000006641.html